

# 平群町地域公共交通総合連携計画(案)



長屋くん



左近くん

平成 23 年 3 月

平 群 町



## 【目次】

1 . 平群町の概要	1
( 1 ) 地勢、地形	1
( 2 ) 人口、世帯数、高齢者率	2
2 . 平群町公共交通の現状と課題	3
( 1 ) 平群町公共交通の現況	3
( 2 ) 平群町の将来計画	8
( 3 ) 公共交通に関する住民意向調査	9
( 4 ) 町コミュニティバスに関する意向調査	17
( 5 ) 観光客に対する意向調査	20
( 6 ) 平群町公共交通の課題のまとめ	22
3 . 地域公共交通総合連携計画における基本方針	29
( 1 ) 基本理念	29
( 2 ) 基本方針	30
( 3 ) 目標	31
4 . 地域公共交通総合連携計画の区域	32
5 . 地域公共交通総合連携計画の計画期間	32
6 . 基本方針に対する具体的施策	33
( 1 ) 平群町公共交通の機能分類	33
( 2 ) 具体的施策	34
7 . 事業の概要および事業の実施主体	36
8 . 町コミュニティバス運行計画の見直し	52
( 1 ) 町コミュニティバスの運行計画の検討	52
( 2 ) 運行本数	55
( 3 ) 休日運行	55
9 . 実証計画、評価基準の策定	56
( 1 ) P D C A サイクルによる検証	56
( 2 ) 事業計画の検証	57
( 3 ) 町コミュニティバス運行における評価基準（平日）	58
( 4 ) 町コミュニティバス運行における評価基準（休日）	60



## 1. 平群町の概要

### (1) 地勢、地形

平群町は奈良県の北西部に位置し、町の中心部を竜田川が北から南へ流れる西の生駒山地と東の矢田丘陵に挟まれた盆地に位置する。

町の中心部を南北に近鉄生駒線が通り、北は生駒市で近鉄奈良線に接続、南は王寺町でJR関西線に接続し、大阪・奈良中心部へは約1時間の通勤圏にあり、町の丘陵地では新興住宅地が広がっている。

道路状況は、国道168号や西名阪自動車道等により、奈良・大阪・京都の各地と結ばれている。

町西側には広域農道（信貴フラワーロード）が整備され、特産物（花卉・野菜・果樹）の出荷や生活道路として活用されている。

また、国道168号の東側には国道168号バイパス（平群バイパス）が整備中である。



図 平群町位置図

(2) 人口、世帯数、高齢者率

平群町の人口は平成13年の21,000人から平成22年の20,280人とこの9年間でやや減少傾向(-3%)にある。

高齢者率は平成13年の17.8%から平成22年には27.5%に増加し、全国平均(22.7%)をも上回っている。

人口が減少し、世帯数が増加傾向にあることから1世帯あたりの家族構成人数は減少傾向にある。

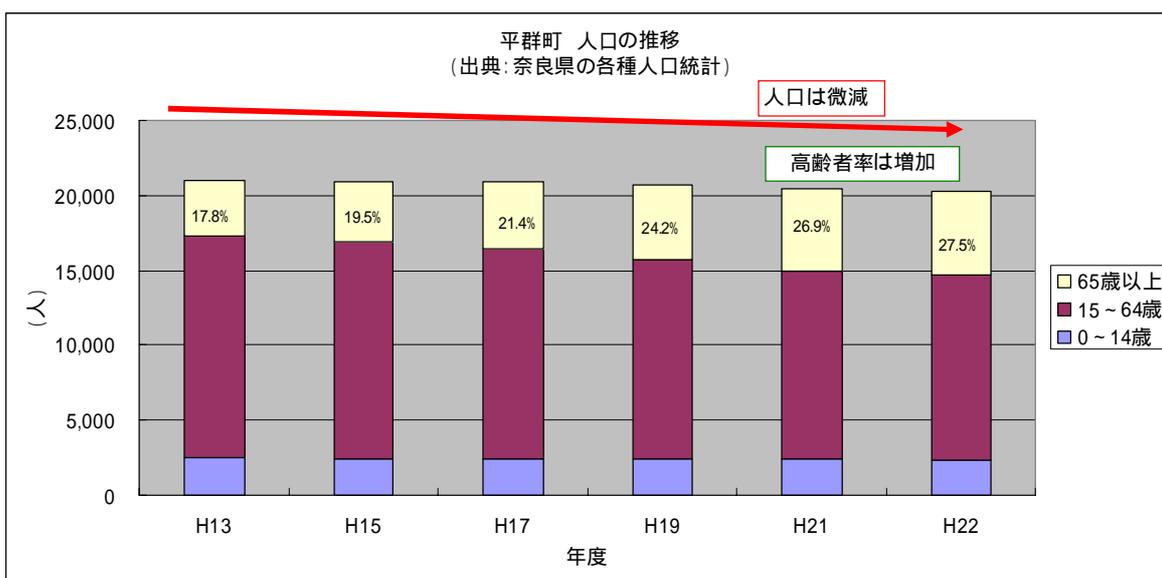


図 平群町人口の推移 (H13~H22)

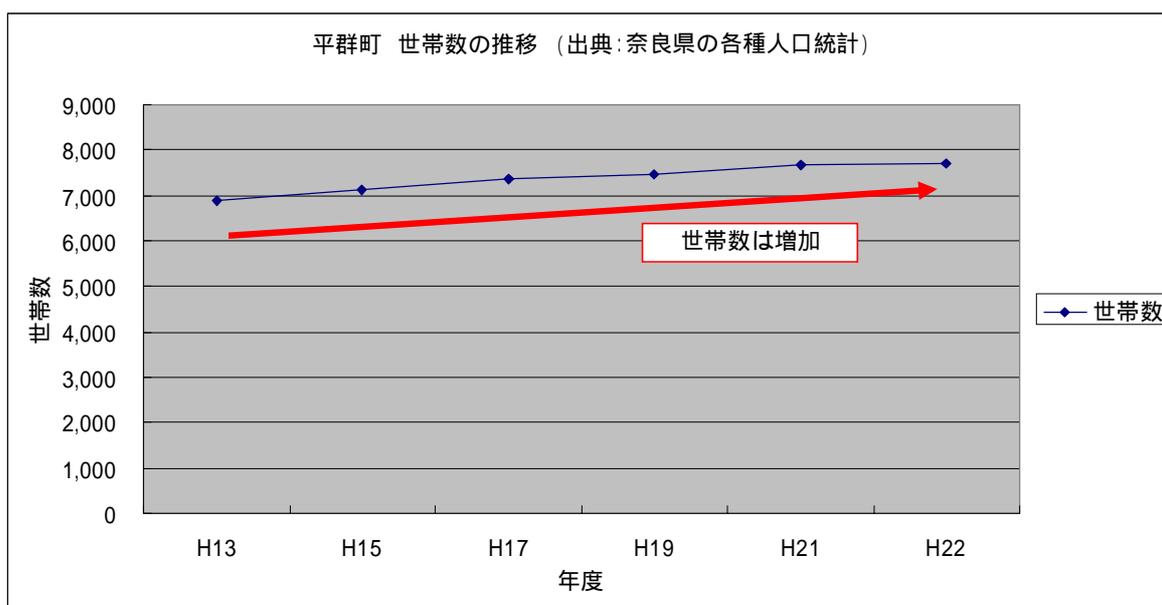


図 平群町世帯数の推移 (H13~H22)

## 2. 平群町公共交通の現状と課題

以下に平群町の公共交通の現況、平群町の将来計画、アンケート・ヒアリング調査結果をとりまとめ、平群町公共交通の課題を整理する。

### (1) 平群町公共交通の現況

公共交通として近鉄電車、路線バス（NCバス）、町コミュニティバス（あいバス）、タクシーが運行している。

#### 1) 近鉄生駒線

近鉄生駒線は、北は生駒市で近鉄奈良線と接続、南は王寺町でJR関西線に接続し、平群町の中心部を南北に通って、町内には北から東山駅、元山山口駅、平群駅、竜田川駅の4駅がある。

近鉄生駒線の輸送人員は、平成3年の18,155千人をピークに、近年は減少傾向であり、平成18年の輸送人員は15,290千人とピーク時の約84%となっている。

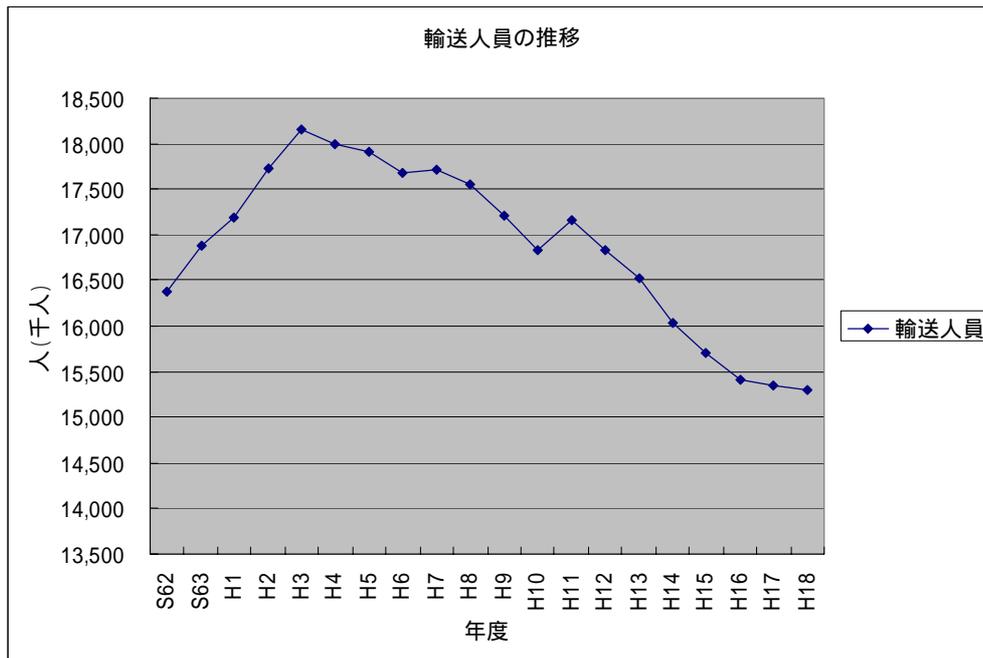


図 近鉄生駒線輸送人員の推移 (S62～H18)

## 2) 路線バス(NCバス)

路線バス(NCバス)は、平群町北部の住宅地(菊美台、緑ヶ丘、椿台、若葉台)と近鉄生駒線の駅(東山駅、元山上口駅、平群駅)を結ぶルート(「P6 図公共交通の現況」参照)の運行が行われているが、近年は、利用客数が減少している。

参考として、平成20年度、平成21年度の利用客数調査結果を示す。

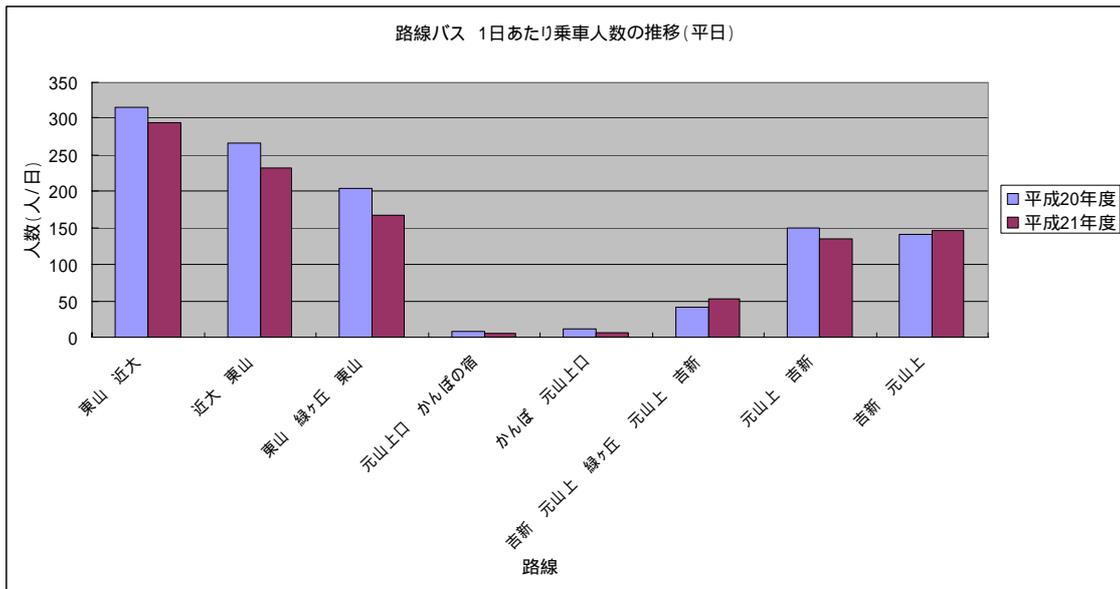


図 路線バス路線別の1日乗車人員の推移(休日)

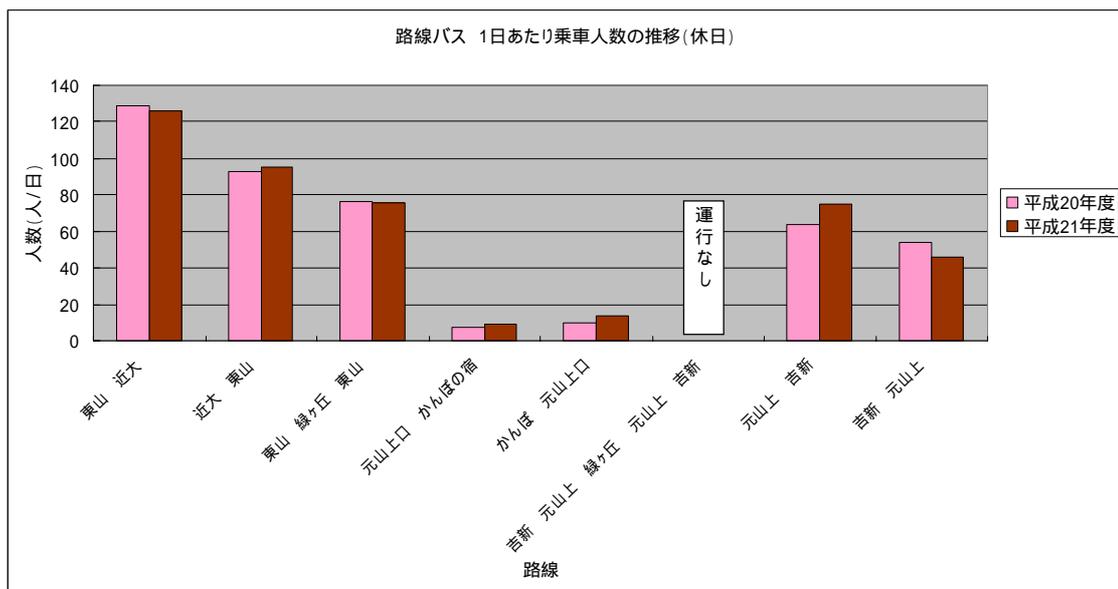


図 路線バス路線別の1日乗車人員の推移(休日)

### 3) 町コミュニティバス(あいバス)

町コミュニティバス(あいバス)は、町南部と西山間部を運行しており、近鉄平群駅と南部住宅地を結ぶ南部ルート、近鉄平群駅と西山間部(福貴畑、久安寺、信貴畑)を結ぶ西山間ルートの合計2ルート(「P6 図公共交通の現況」参照)の運行が行われている。

1便あたりの利用客数は、平成21年度では、西山間ルートで7.5人/便(小学生の通学利用を含む)、南部ルートで8.7人/便であった。

運行収支としては、運行経費17,800千円に対し運賃収入1,872千円となり、収支率10.5%となっている。

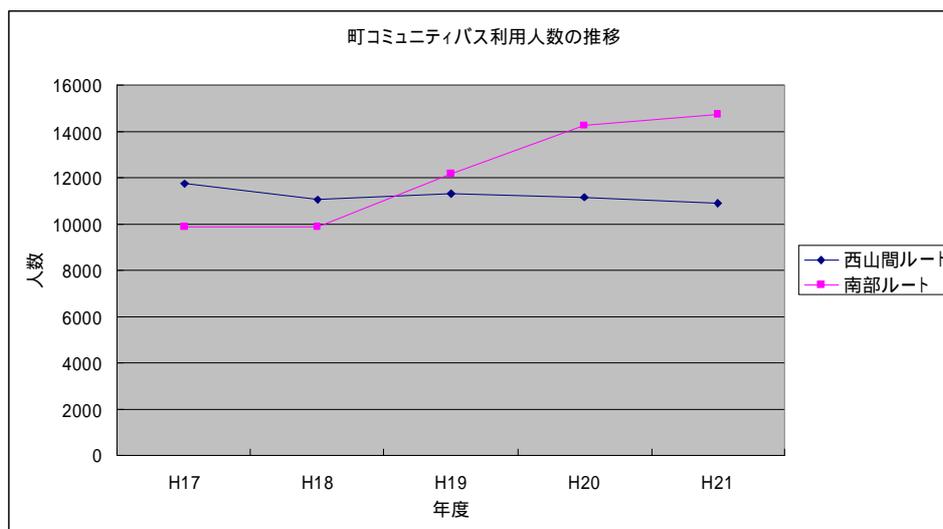


図 町コミュニティバス(あいバス)利用人数の推移 (H17~H21年度)

### 4) タクシー

タクシーは、竜田タクシーが近鉄東山駅(1台)と近鉄平群駅(1台)に常駐しており、24時間配車対応を行っている。

次頁に、平群町公共交通機関の概要についてとりまとめたものを示す。

近鉄電車 移動時間と料金

時間	8分	6分	3分	4分	2分	2分	2分
東山	150円	150円	150円	150円	150円	150円	200円
元山上口							
平群							
竜田川							

運賃

近鉄電車

運行時間：5時台～23時台

運行本数：1時間あたり平均4本

路線名	経路	運行本数(平日)	運賃
平群住宅線	吉新商店街前 中央公民館前 平群中学校 元山上口駅	6時台～21時台(2～4本/時間)	180～230円
	吉新商店街前 老人福祉センター前 平群中学校 元山上口駅	1日5本(9時台～15時台)	180円
	元山上口駅 老人福祉センター前 吉新商店街前	1日2本(8時台、15時台)	
	元山上口駅 上庄台 かんぼの宿大和平群	6時台～22時台(2～4本/時間)	
	元山上口駅 緑ヶ丘(循環) 元山上口駅	6時台～20時台(2～4本/時間)	
近畿大学奈良病院線	東山駅 緑ヶ丘(循環) 東山駅		
	東山駅 親美台四丁目 近畿大学医学部奈良病院		180円

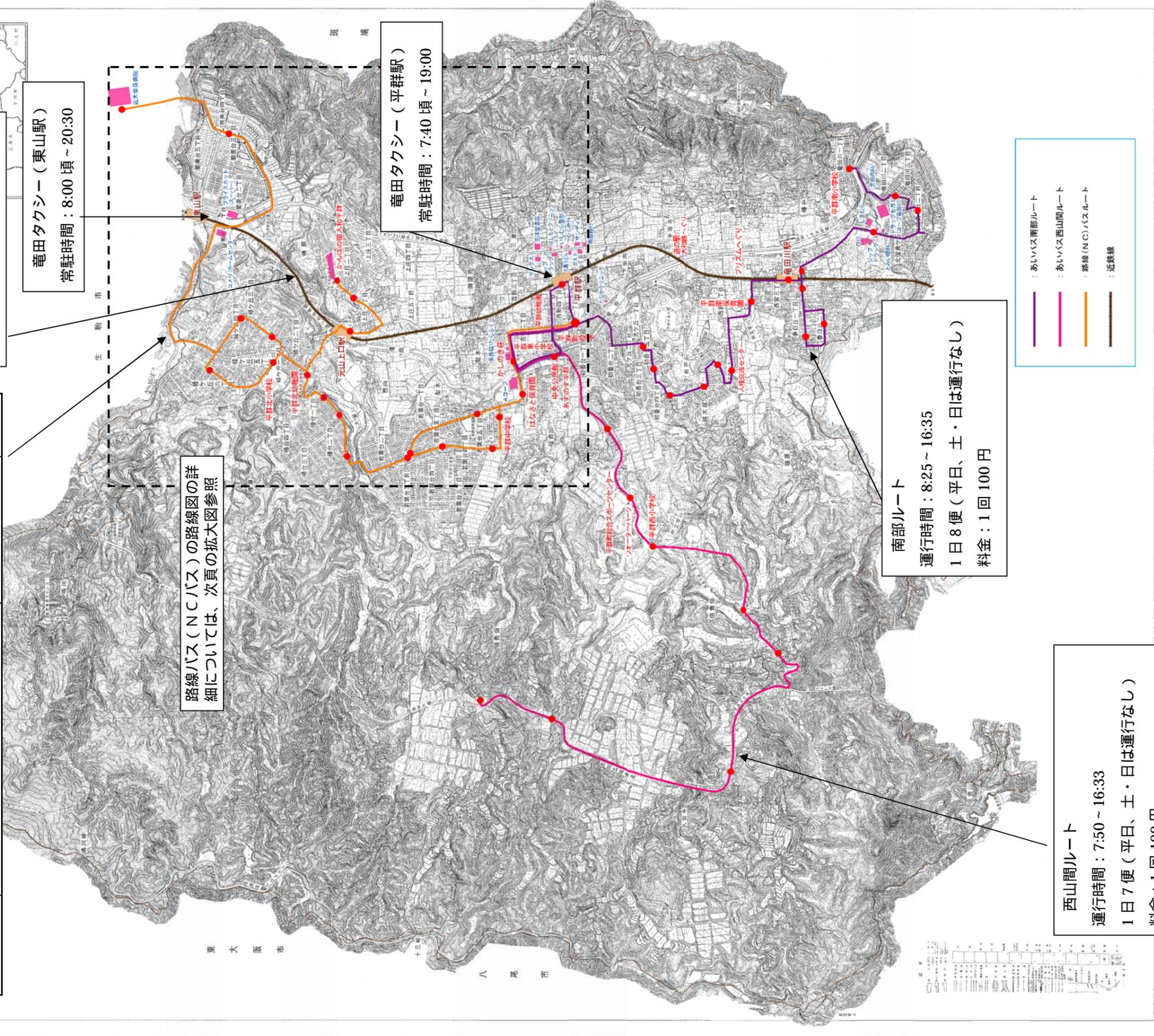
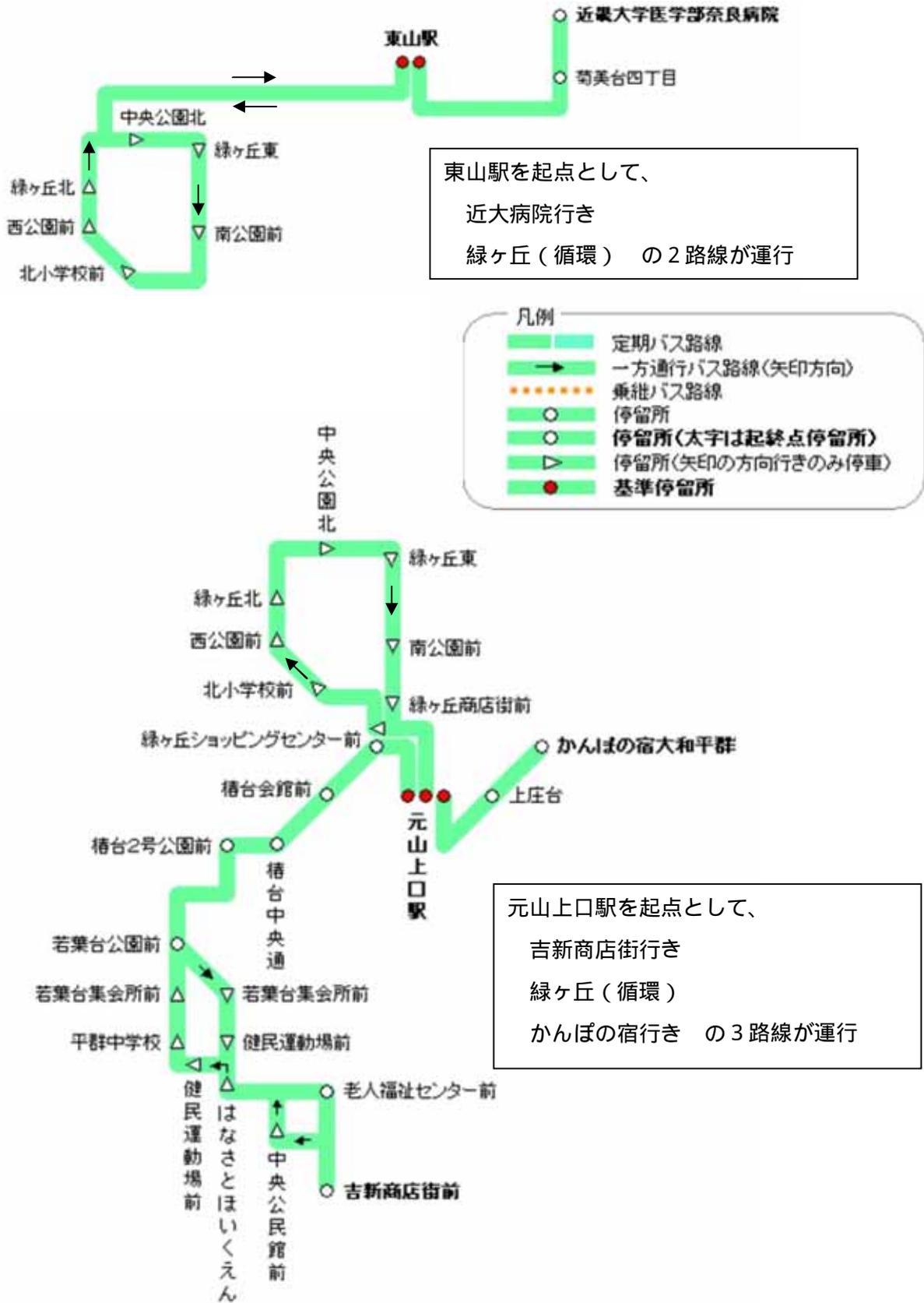


図 公共交通の現況

路線バス（NCバス）の路線図



## (2) 平群町の将来計画

### 1) 平群駅周辺

平群駅周辺においては、駅西側に駅前広場と駅前道路が計画されており、平成 24 年度の供用目標となっている。



### 2) 国道 168 号平群バイパス

国道 168 号平群バイパス沿いにおいては、一部の商業施設が既に立地しているが、今後も引き続き企業や商業施設の誘致を推進する。

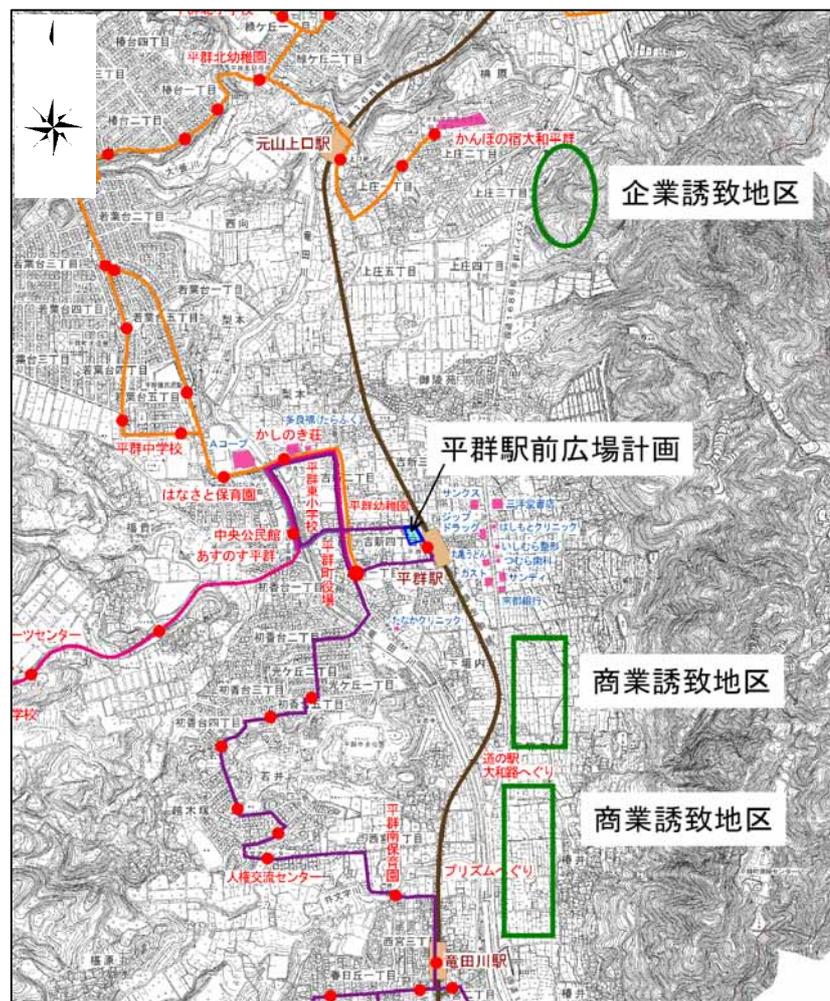


図 町内の開発計画位置

### (3) 公共交通に関する住民意向調査

コミュニティバス路線の策定、公共交通利用促進方策の立案にあたり、平群町住民の現在の移動手段・移動方法の把握、コミュニティバスに対する意見、要望等の把握を行い、平群町にふさわしい方策を立案するための基礎資料とすることを目的として、住民に対するアンケート調査を実施した。

#### 1) アンケート調査実施概要

実施期間	・平成22年8月26日～平成22年9月26日
配布方法	・平群町全世帯7,675世帯に各1部配布 ・調査票および依頼状は平群町広報誌と同時に配布 ・アンケート回収BOXに予備票を配置
回収方法	<b>【回収方法】</b> ・以下の場所に回収BOXを設置（全20箇所） （役場、中央公民館、あすのす平群、かしのき荘、プリズムめぐり、道の駅、人権交流センター、総合スポーツセンター、平群中学校、平群北・東・西・南小学校、平群幼稚園、はなさと保育園、南保育園、近鉄東山駅、元山上口駅、平群駅、竜田川駅） <b>【回収に向けた広報】</b> ・平群町HPでの情報掲載による周知 ・長寿会、子供会等の各種団体へ協力依頼
回収数・回収率	・回収数1,449票　回収率18.9%（1,449票/7,675票）
回答者属性	・性別：男36%、女64% ・年齢別：65歳以上が最も多く、全体の54%を占める ・地区別：若葉台（153）、初香台（122）、緑ヶ丘（112）の順で回答が多い

## 2) アンケート調査結果

### 住民の日常行動

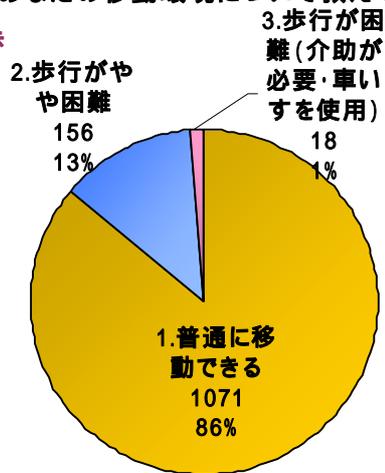
自立的な移動手段を有する人が多いが、高齢者ではその割合が減少している。

自分や家族・知人が自動車を運転することにより移動が可能な人は85%、徒歩の移動が困難でない人は86%となっている。

65歳以上の高齢者では、自分で運転できる人の割合が全体平均より14ポイント減少、徒歩の移動が困難でない人も10ポイント減少している。

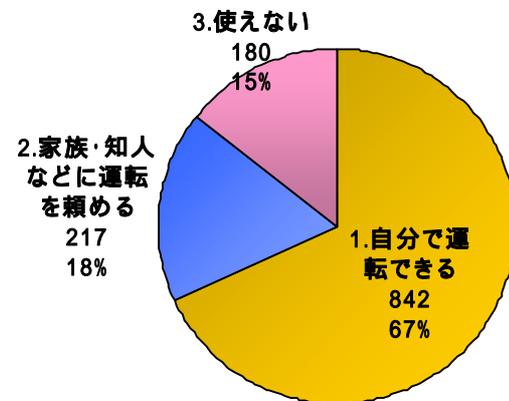
Q5 あなたの移動環境について教えてください。

#### 徒歩



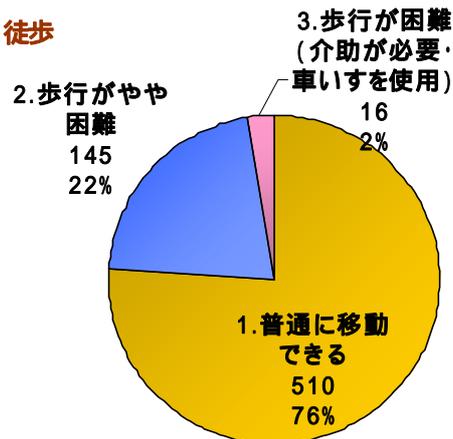
Q5 あなたの移動環境について教えてください。

#### 自動車

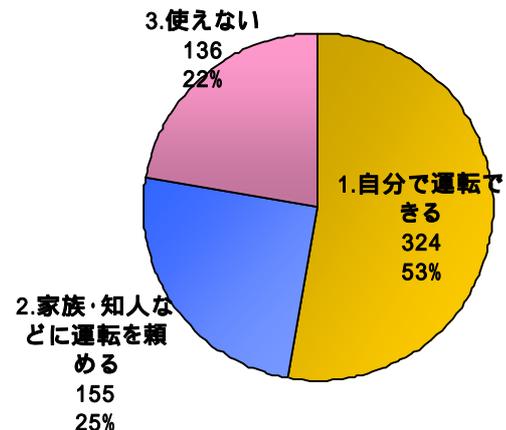


### 65歳以上（高齢者）の移動環境

#### 徒歩



#### 自動車



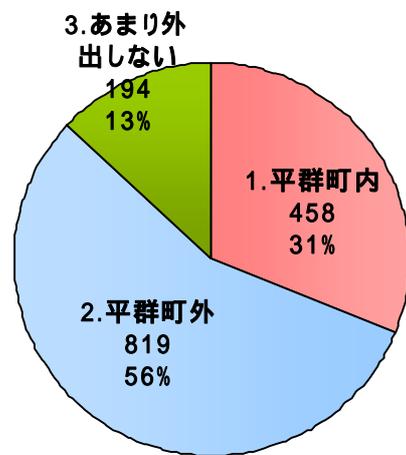
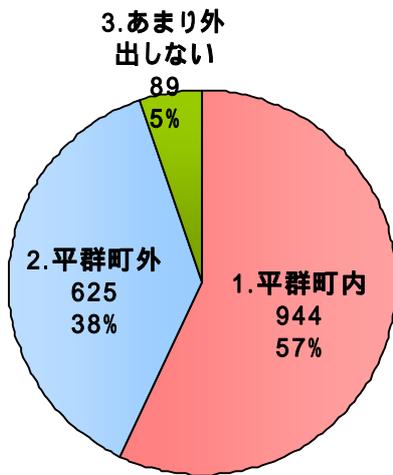
平日は平群町内、休日は町外への移動が多い。

平日の主な外出先としては、平群町内が最も多く 57%だが、休日は町外に行く人が多く、町内の移動は31%にとどまる。

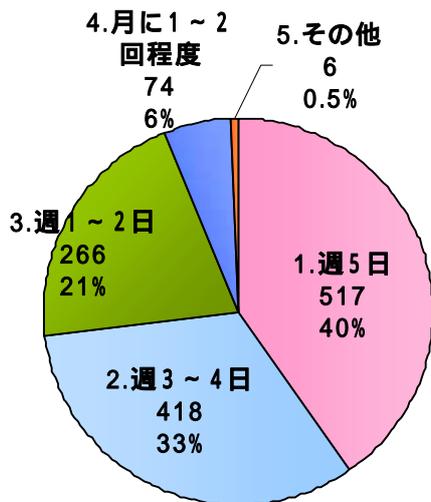
平日毎日外出する人は全体の40%であるが、65歳以上の高齢者では22%である。

Q6 あなたの平日の主な外出先はどちらですか。

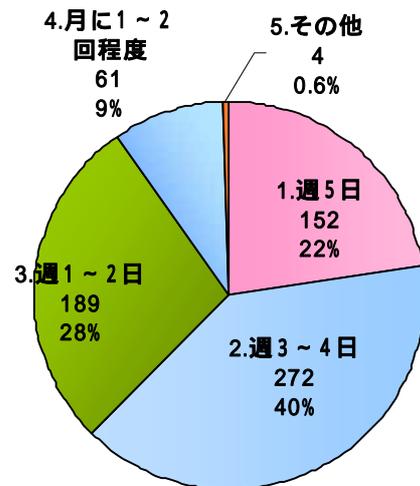
Q6 あなたの休日の主な外出先はどちらですか。



Q10 平日の外出の頻度はどれくらいですか。



65歳以上(高齢者)の外出頻度



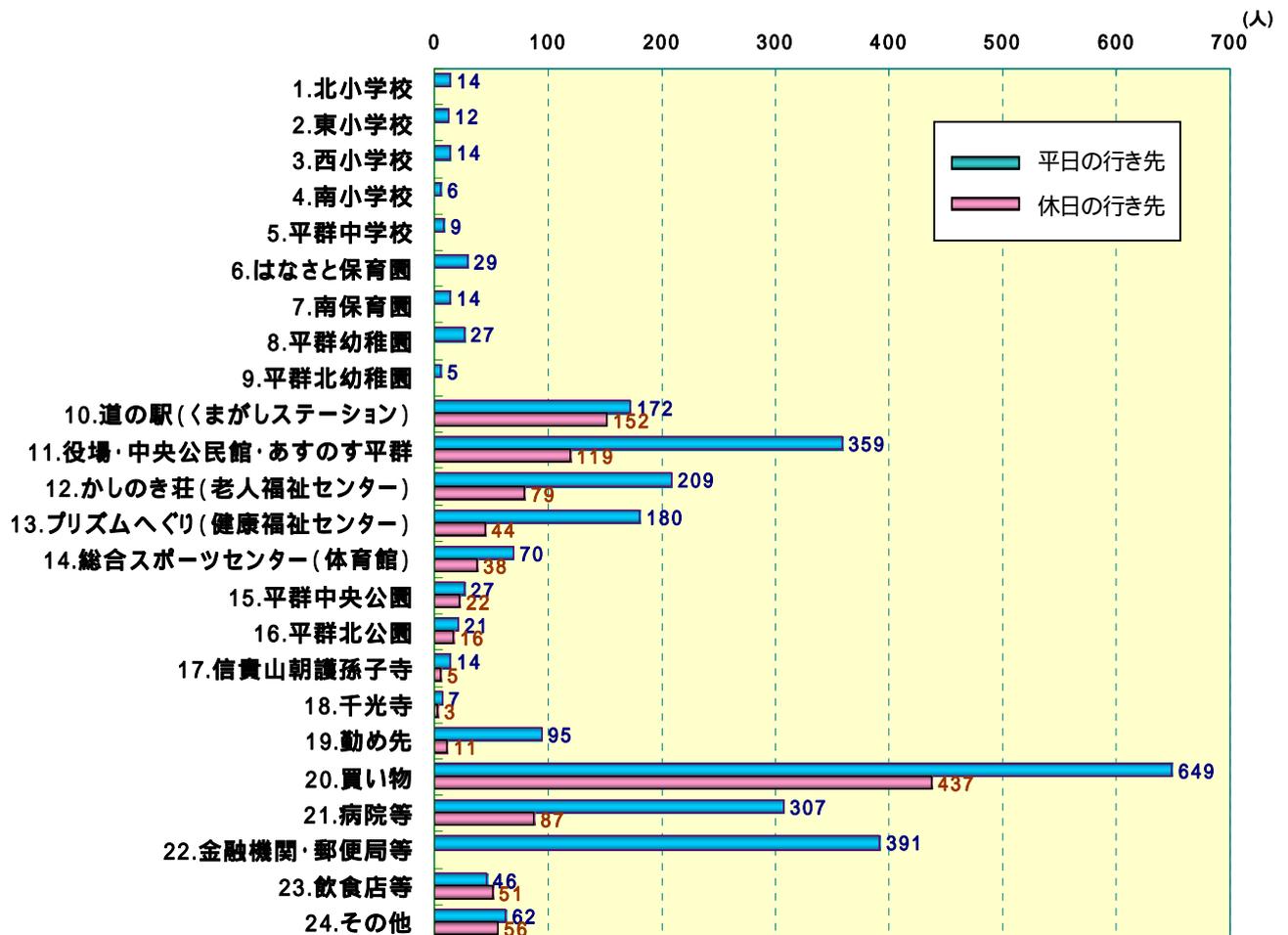
平日は買い物、金融機関・郵便局、役場周辺へ、休日は買い物での外出が多い。

平日の外出先では、買い物、金融機関・郵便局、役場周辺、病院等の順に多くなっている。

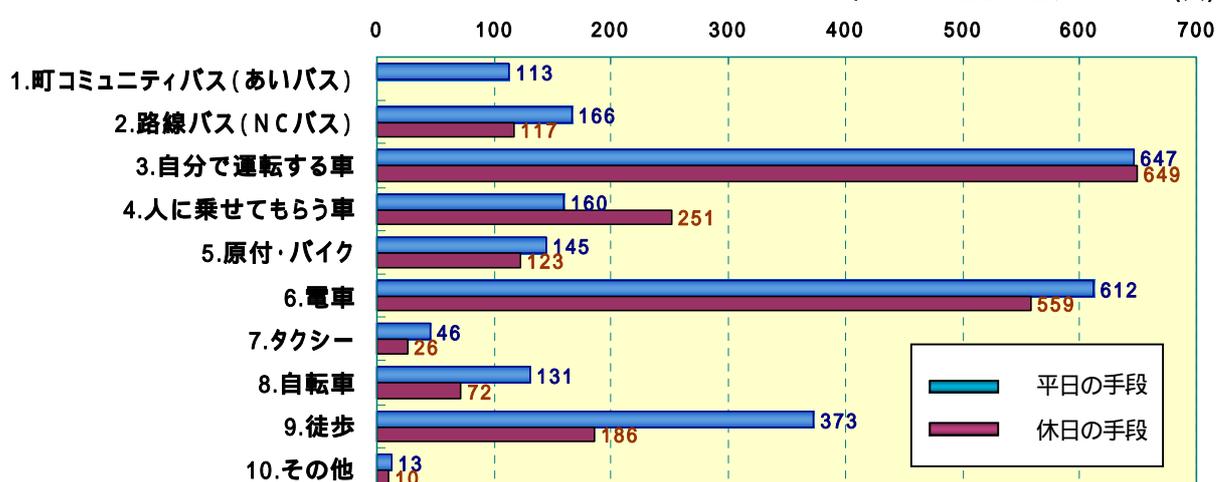
休日は買物が最も多く、次いで道の駅が多くなっている。

移動手段は平日・休日ともに「自分で運転する自動車」と「電車」が多く、平日では「徒歩」、休日では「人にのせてもらう車」がそれに続く。

Q7 平群町内の主にどちらに行かれますか？(3つまで複数回答)



Q8 あなたが外出に利用している主な交通手段を教えてください。(2つまで複数回答)

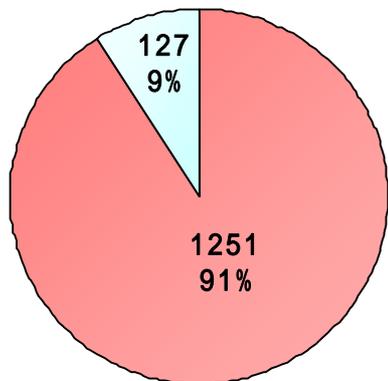


コミュニティバス（あいバス）の認知度と利用状況

町コミュニティバスの認知度は91%と高いが、利用している人は少ない。

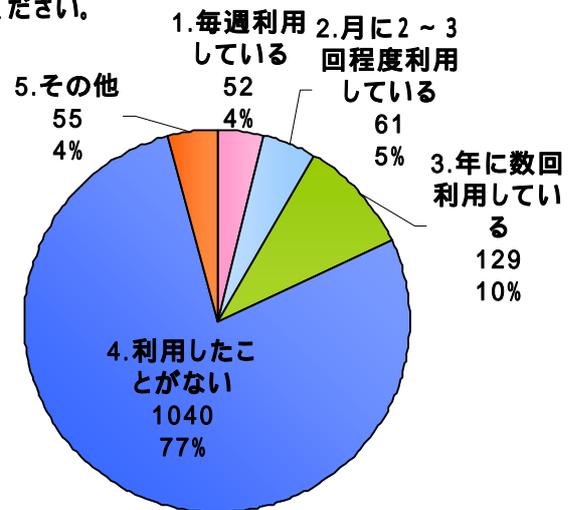
町コミュニティバスについては、91%が「知っていた」と回答している。  
 利用頻度については、「利用したことがない」人は77%で、利用している人の中では、「毎週利用している」「月に2～3回程度利用している」を合わせると9%である。  
 コミュニティバスが運行している地域では認知度が高く、98%が「知っていた」と回答している。  
 高齢者の認知度も93%と、全回答平均よりは高くなっている。

Q16 あなたは町コミュニティバス(あいバス)を知っていましたか。

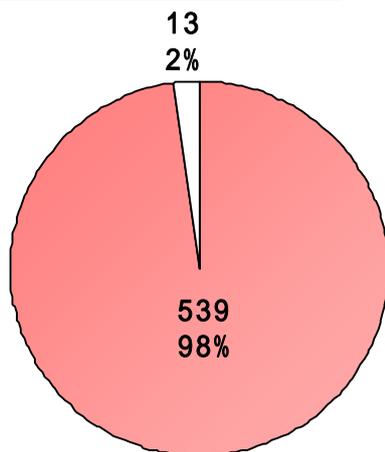


■ 1.知っていた ■ 2.知らなかった

Q17 あなたの町コミュニティバス利用頻度について教えてください。



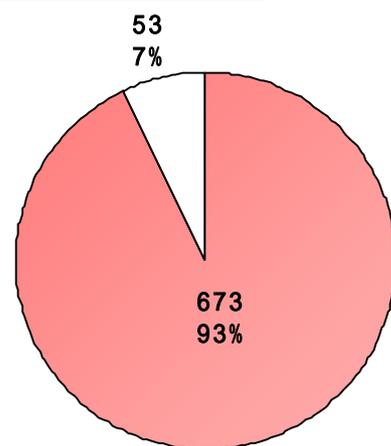
コミュニティバス運行地域での認知度



■ 1.知っていた ■ 2.知らなかった

「利用したことがない」60%

65歳以上(高齢者)の認知度



■ 1.知っていた ■ 2.知らなかった

「利用したことがない」72%

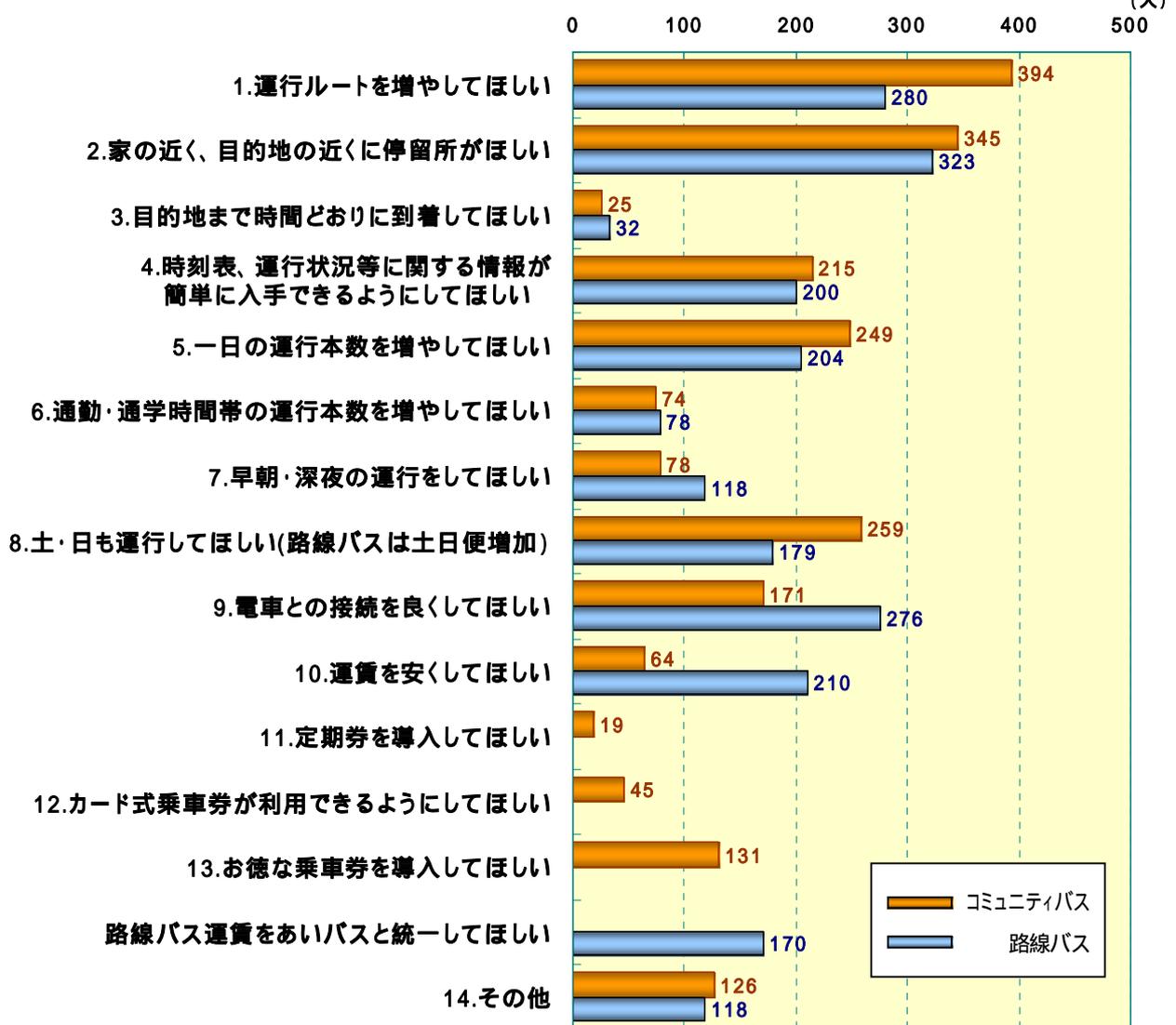
バス交通への要望

運行ルートや停留所、運行本数の増加を望む人が多い。

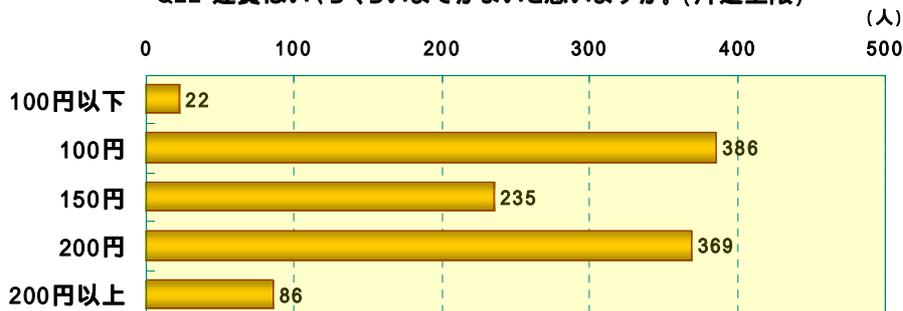
「運行ルートの追加」、「停留所の追加」への要望が最も多く、次いで「土日の運行」、「運行本数の増加」、「運行情報等の簡単な入手」が多い。路線バスについては、「電車との接続改良」への要望が多かった。

運賃（片道上限）については、現状と同額かそれ以下を望む意見が多い。運賃を安くして欲しいという意見は、路線バスへの要望に多い。

Q18 コミュニティバス・路線バスについて改善してほしいと思っていることはありますか。(複数回答可)



Q22 運賃はいくらぐらいまでがよいと思いますか。(片道上限)

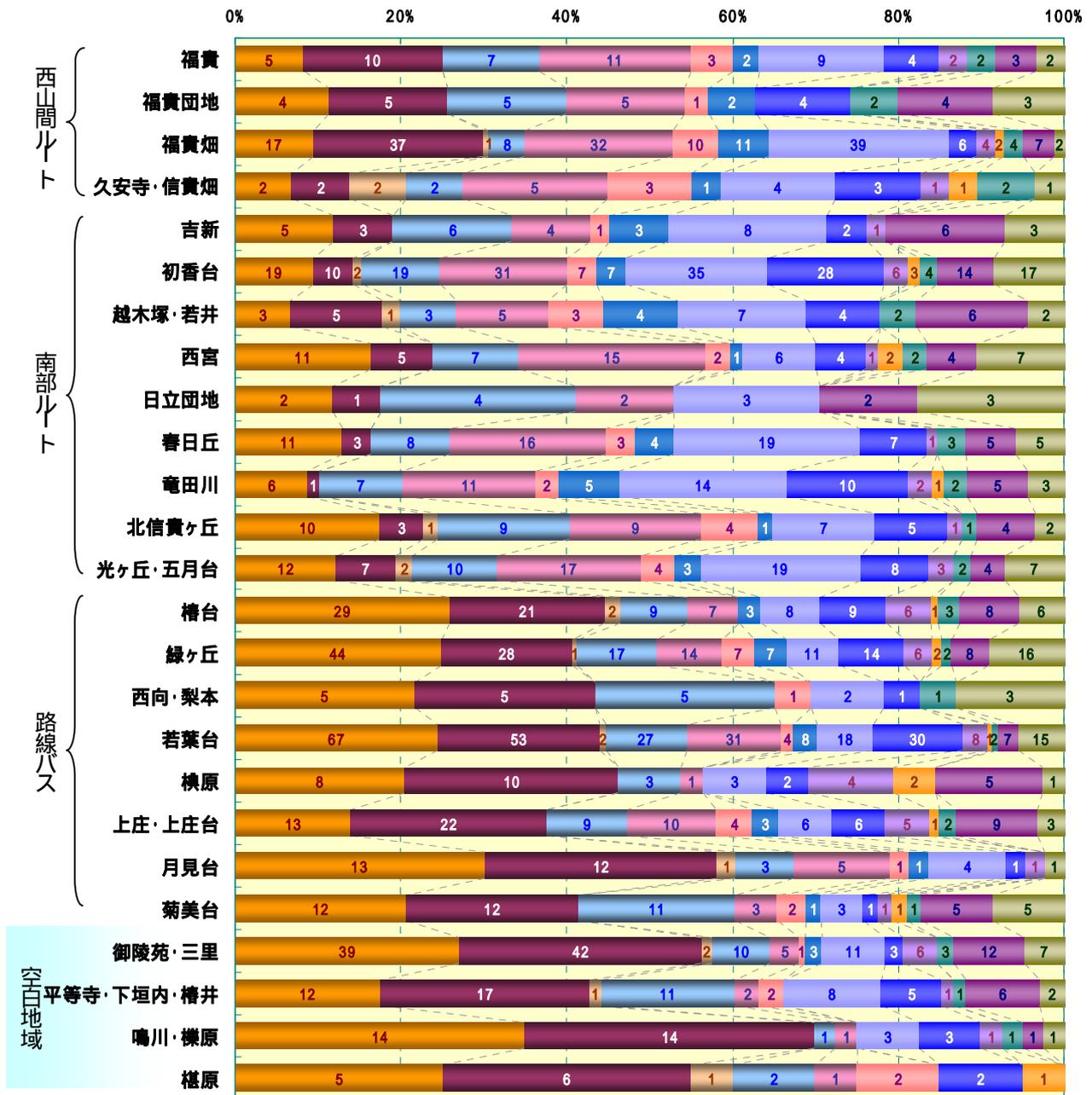


空白地域住民からのルート・停留所の増加への改善要望が多い。

コミュニティバス運行地区では、ルート増加、停留所増加の要望よりも、1日あたりの運行本数や土日運行への要望が多い。

空白地域では、ルート増加・停留所増加への要望が大きい。特に鳴川・櫛原地区での要望意見の割合が高くなっている。

Q18 あなたは町コミュニティバスについて改善してほしいと思っていることはありますか。(複数回答可)

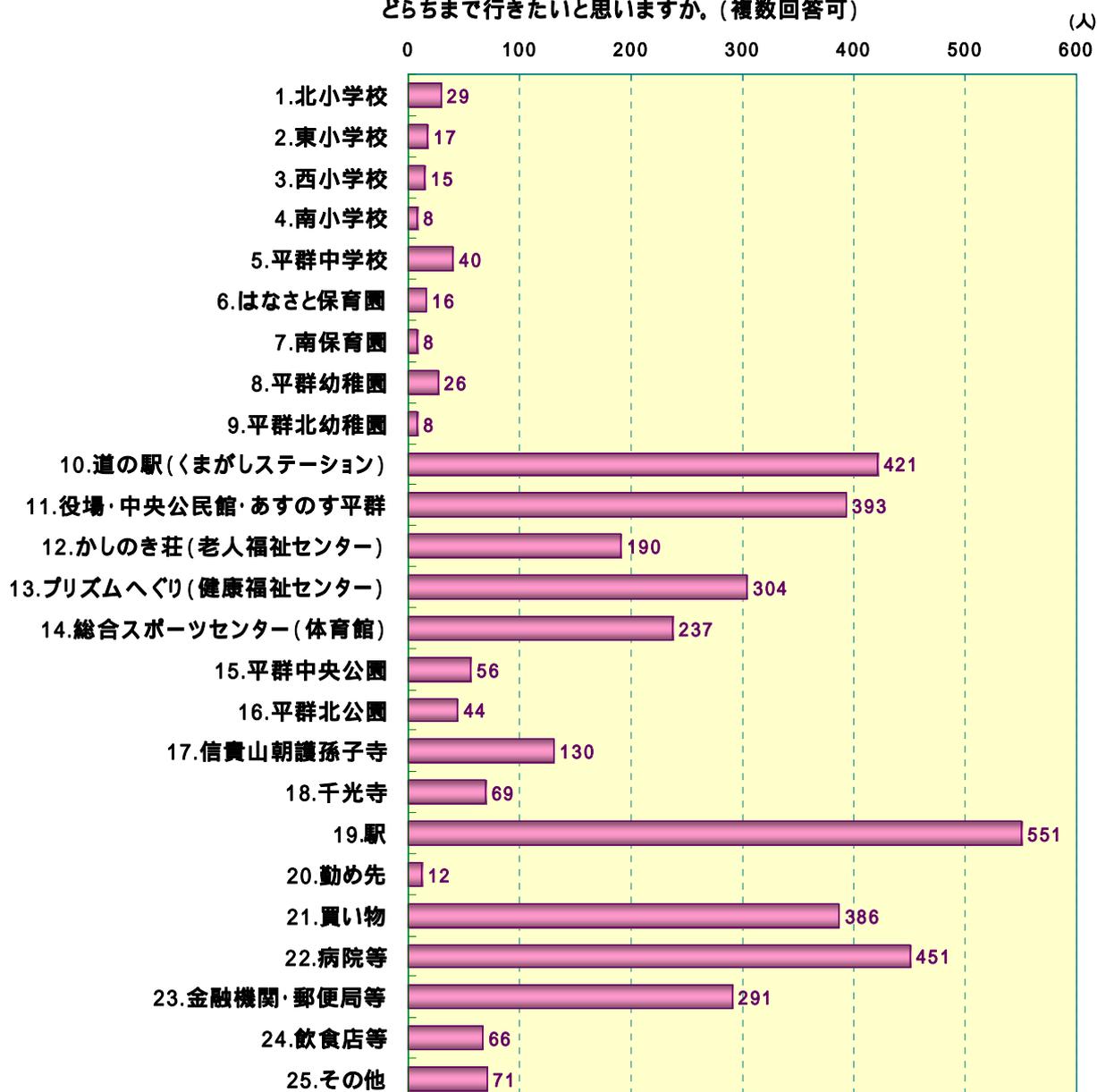


- 運行ルートを増やしてほしい
- 家の近く、目的地の近くに停留所がほしい
- 目的地まで時間どおりに到着してほしい
- 時刻表、運行状況等に関する情報が簡単に入手できるようにしてほしい
- 一日の運行本数を増やしてほしい
- 通勤・通学時間帯の運行本数を増やしてほしい
- 早朝・深夜の運行をしてほしい
- 土・日も運行してほしい
- 電車との接続を良くしてほしい
- 運賃を安くしてほしい
- 定期券を導入してほしい
- カード式乗車券が利用できるようにしてほしい
- お徳な乗車券を導入してほしい
- その他

駅、病院、道の駅、町役場周辺へ行きたいという回答が多い。

近鉄の駅としては、平群駅以外に東山駅・元山上口駅へ行きたいという回答が多い。  
 日常の「外出先」とほぼ同様の傾向が出ているが、病院や各公共施設への要望の割合は、「外出先」よりも大きくなっている。  
 「買い物」「飲食店」の具体名称としては、平群バイパス沿いの施設名も多くあげられている。

Q21 あなたは町コミュニティバス(あいバス)、路線バス(NCバス)が使えるならば、どちまで行きたいと思いますか。(複数回答可)



(4) 町コミュニティバスに関する意向調査

町コミュニティバスを実際に利用している人、利用していない人に対してコミュニティバスへの意見・要望等を聞き、総合連携計画に対する参考資料とすることを目的として、ヒアリング調査を実施した。

1) 実施概要

対 象	コミュニティバス利用者	バス非利用者
実施日時	平成22年9月24日(金)7:50~16:30	平成22年9月24日(金)9:00~14:30
実施方法	南部ルート、西山間ルートのコミュニティバスに調査員がそれぞれ1名乗車し、乗客に対して聞き取り調査を実施	コミュニティバスルート上の公共施設(役場、中央公民館、かしのき荘、プリズムめぐり)にて、調査員を配置し、来訪者に対して聞き取り調査を実施
回答数	南部ルート:32票 西山間ルート:10票	役場:27票 中央公民館:64票 かしのき荘:23票 プリズムめぐり:25票
回答者属性等	南部ルート ・女性85%、男性15% ・60歳代以上が70% ・主な利用目的は、買い物、病院、用事 西山間ルート ・女性82%、男性18% ・60歳代以上が73% ・主な利用目的は、病院、用事その他、小中学生の通学	・性別:女性71%、男性29% ・年齢:50歳代以上が93% ・移動手段は、自分で運転する車(48%)、徒歩(28%)が多い
備 考	乗降客数 南部ルート:50人(往復利用者については調査は1回のみとした) 西山間ルート:50人(うち小中学生の利用35人)	

## 2) 調査結果の概要

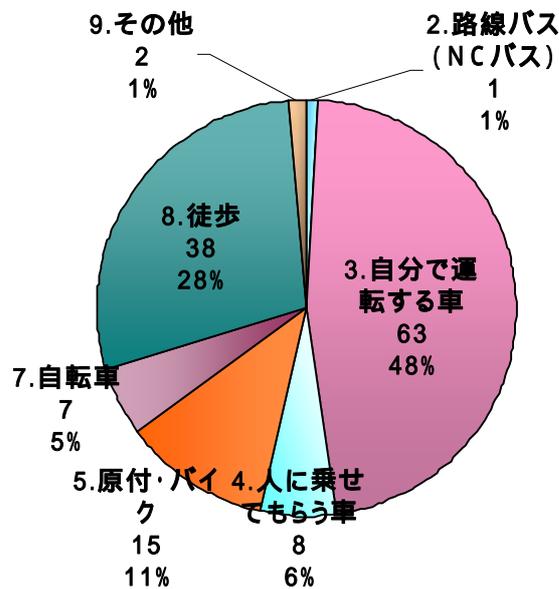
### コミュニティバスを利用しない理由

自分で運転する自動車やバイク等を利用するから、という回答が多い

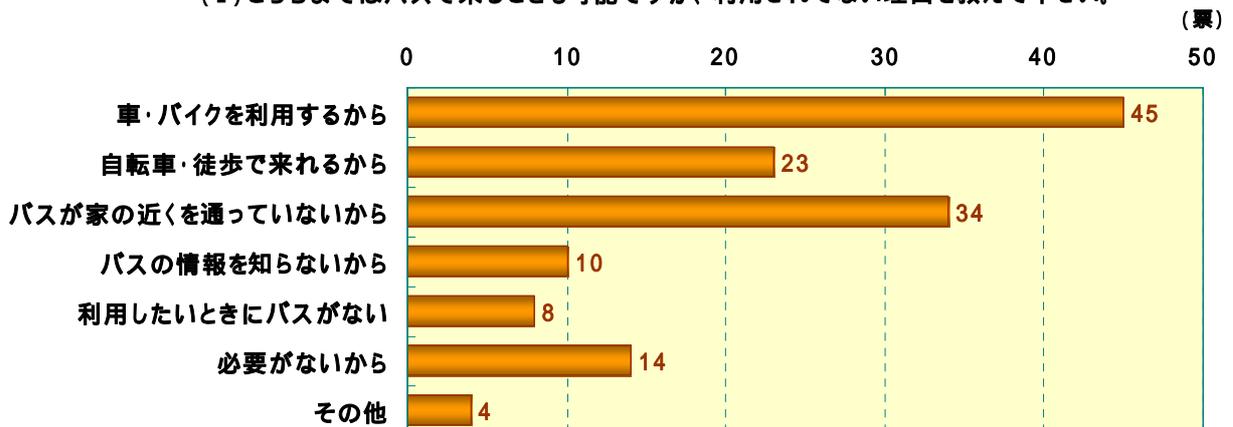
自分で運転する車で移動する人が約半数の48%、健康のために「徒歩」「自転車」と回答される人も多かった。

バスが家の近くを通らないという人は、34人(134人中)であった。

(1) こちらまでの移動手段は？



(2) こちらまではバスで来ること可能ですが、利用されてない理由を教えてください。



## コミュニティバスに対する要望

利用者は運行の充実、非利用者はルートと将来的な運行への要望が多い。

西山間ルート利用者からは特に大きな要望は出なかったが、南部ルート利用者からは「土日運行」「運行時間延長」「バイパスへのルート」への要望があった。

非利用者からは、自宅付近を通るルートや停留所の増加の要望が多かったが、高齢になって自動車等に乗れなくなった時の足として、将来は利用したいという声が多かった。

非利用者のその他要望としては、以下のような意見がある。

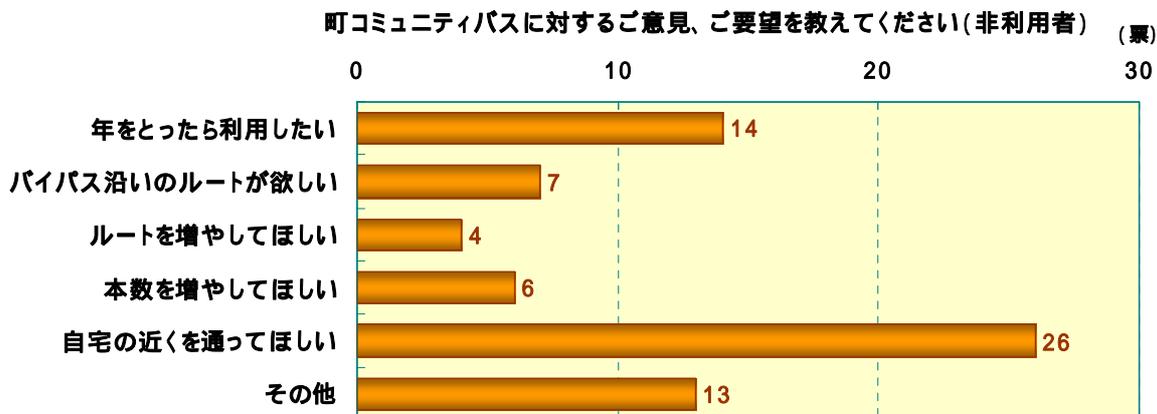
平群町は坂道が多いのでバスはあったほうがよい

無料なら利用する

利用者が少ないのに税金の無駄だ

もっと奥地の方まで行ってほしい（路線バスも含め）

停留所を増やす、フリー乗降にするなど、使いやすくしてほしい



(5) 観光客に対する意向調査

平群町の主要な観光施設である信貴山・千光寺への来訪者に対し、直接意見・要望等を聞き、総合連携計画に対する参考資料とすることを目的として、ヒアリング調査を実施した。

1) 実施概要

実施場所	信貴山朝護孫子寺	千光寺
実施日時	平成22年9月26日(日) 9:00~15:00	
回答数	87票	30票
回答者属性等	<ul style="list-style-type: none"><li>・平群町外からの来訪者は99%</li><li>・移動手段は、車(70%)、バス(14%)</li><li>・利用目的は、参詣(87%)が多い</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・平群町外からの来訪者は87%</li><li>・移動手段は、徒歩(84%)、車(13%)</li><li>・利用目的はハイキング(53%)が多い</li></ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"><li>・主な立ち寄り先は、法隆寺、生駒スカイライン</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・千光寺は、生駒周辺のハイキングコースとして利用者が多い</li></ul>

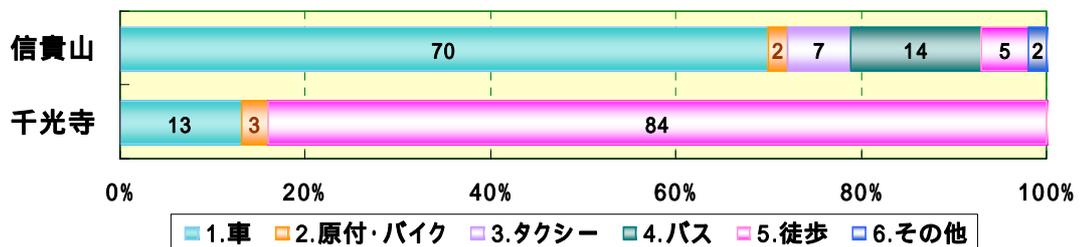
## 2) ヒアリング調査結果

信貴山はドライブ、千光寺はハイキングでの来訪者が多く、現時点でのバスのニーズはそれほど高くない。

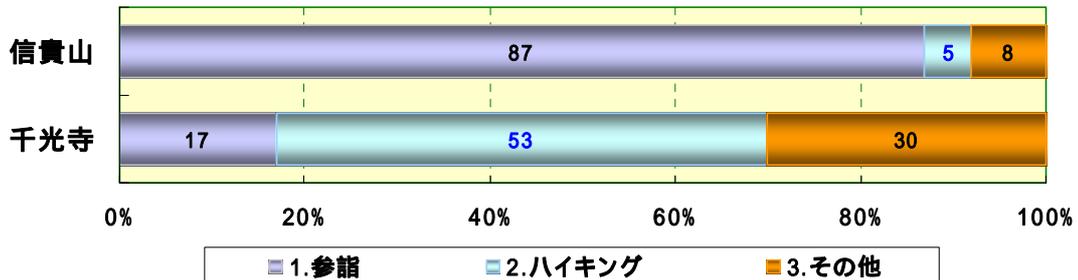
信貴山への来訪者は、生駒スカイラインや法隆寺等へのドライブコースとして立ち寄った人も多く、70%以上の人車が利用している。バスで来訪した人は、信貴山下駅(三郷町)から出ている信貴山朝護孫子寺行きバスを利用している。

千光寺は修験道の霊場として著名で、ハイキングコースの目的地として訪れている人が多い。バスがあれば利用すると回答した人は、どちらも約35%であった。

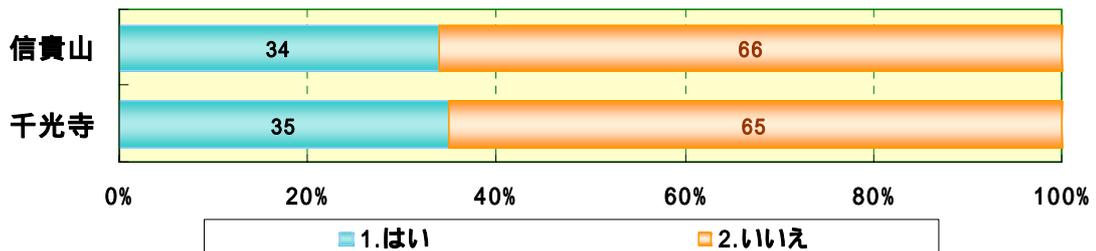
### 移動手段



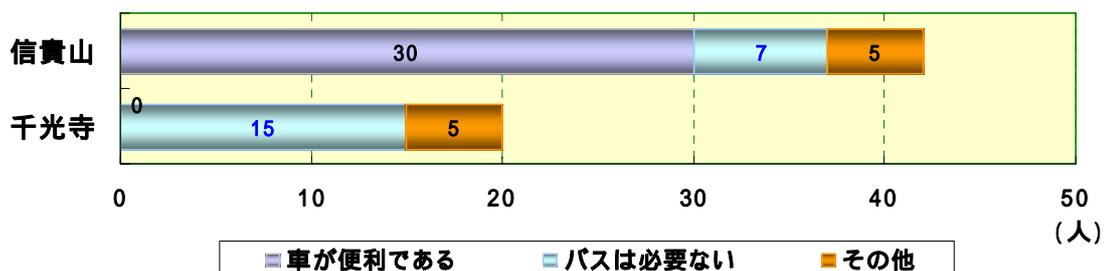
### 来訪目的



### 平群町の駅から、バスで来られるようになったら利用したいと思いますか



### 「バスを利用しない」理由



(6) 平群町公共交通の課題のまとめ

平群町の現況、公共交通に関する住民意向調査、町コミュニティバスに関するヒアリング調査および観光客に対する意向調査等の結果から、公共交通の課題を以下の視点で整理した。

**視点1 高齢者や学童の日常生活の移動手段を確保する**

地域福祉の観点から、交通手段を持たない高齢者や、遠方からも安全な通学手段を確保すべき学童に対して、適切な移動手段を提供することが必要である

**視点2 町内の交通空白地帯を解消する**

現状での公共交通空白地帯(次ページ図参照)において、住民ニーズを踏まえた需要予測や多様な手法の検討等により、必要な対策を講じることが求められる

**視点3 新たなまちづくりに向けて住民ニーズに対応する交通サービスを構築する**

平群バイパス沿道での大規模店舗立地や、平群駅前整備など、町のすがたが大きく変わろうとするなか、まちづくりのありかたと合わせた交通サービス・システムの検討が必要である

**視点4 住民の貴重な足である「あいバス」と路線バスを維持する**

公共交通サービスの維持・向上のためには、利用者数を増やすことが重要であり、様々な利用促進策を講じる必要がある



バスルートに係る課題 ~ルートの見直し・変更・新設~

バス運行システムに係る課題 ~ダイヤ、運行計画・日程等~

利用サービスに係る課題 ~情報提供、利用促進の取り組み等~

事業者連携に係る課題 ~乗り継ぎしやすさ、料金設定等~

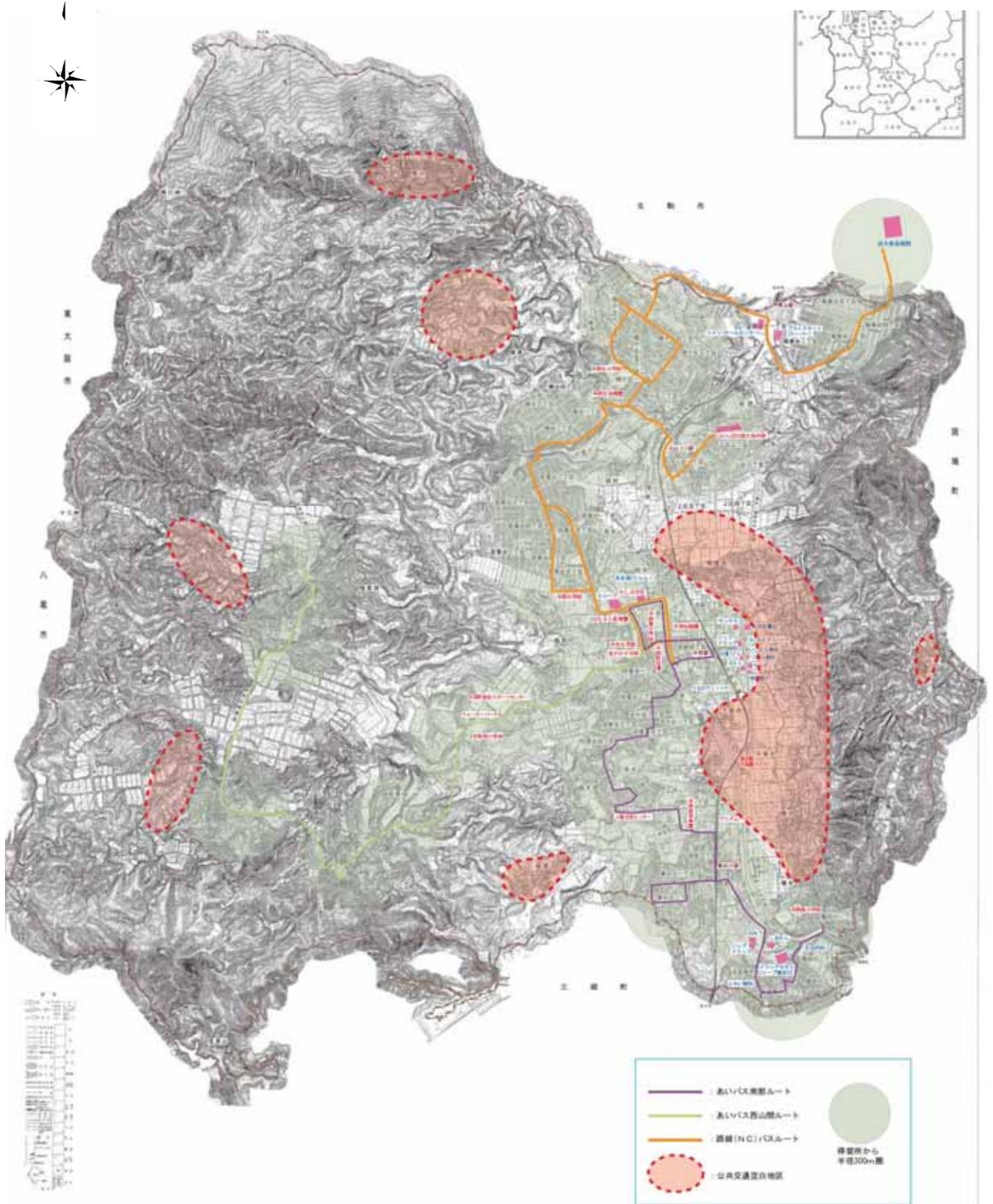


図 公共交通の現況と公共交通空白地域

## バスルートに係る課題 ~ルートの見直し・変更・新設~

### 【バスルートに係る課題 1】

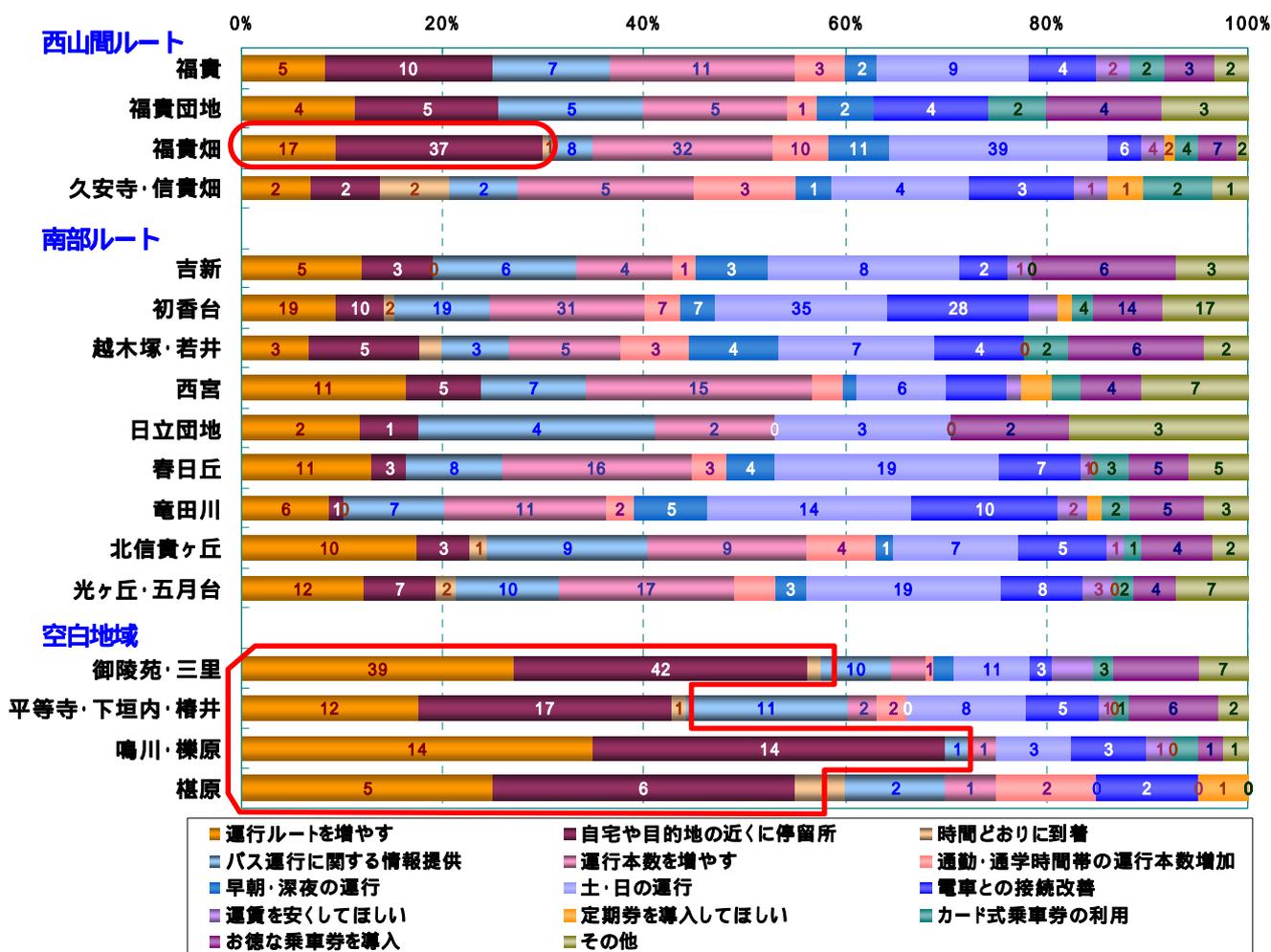
公共交通空白地域の解消に向けたルートの設定（新設・延伸）が必要です。

コミュニティバスへの改善に関する回答を地域別にみると、空白地域への運行ニーズが大きい。特に御陵苑・三里地区は約450世帯の集積する地域であり、回答数も多くなっている。

鳴川・櫛原地区は、町内で最も公共交通利用が不便な地域であるとともに高齢化率も高い。西山間ルートへの延伸等により、住民の足を確保するための対策が必要である。

西山間ルートが運行する地区でも、停留所徒歩圏域から外れる福貴畑地区からの要望も高い。福貴・福貴畑地区は周辺地区と比較して児童数も多いため、住民の要望に応えることのできるルートの見直し等が必要である。

町コミュニティバスについて改善してほしいと思っていることはありますか。(複数回答可)

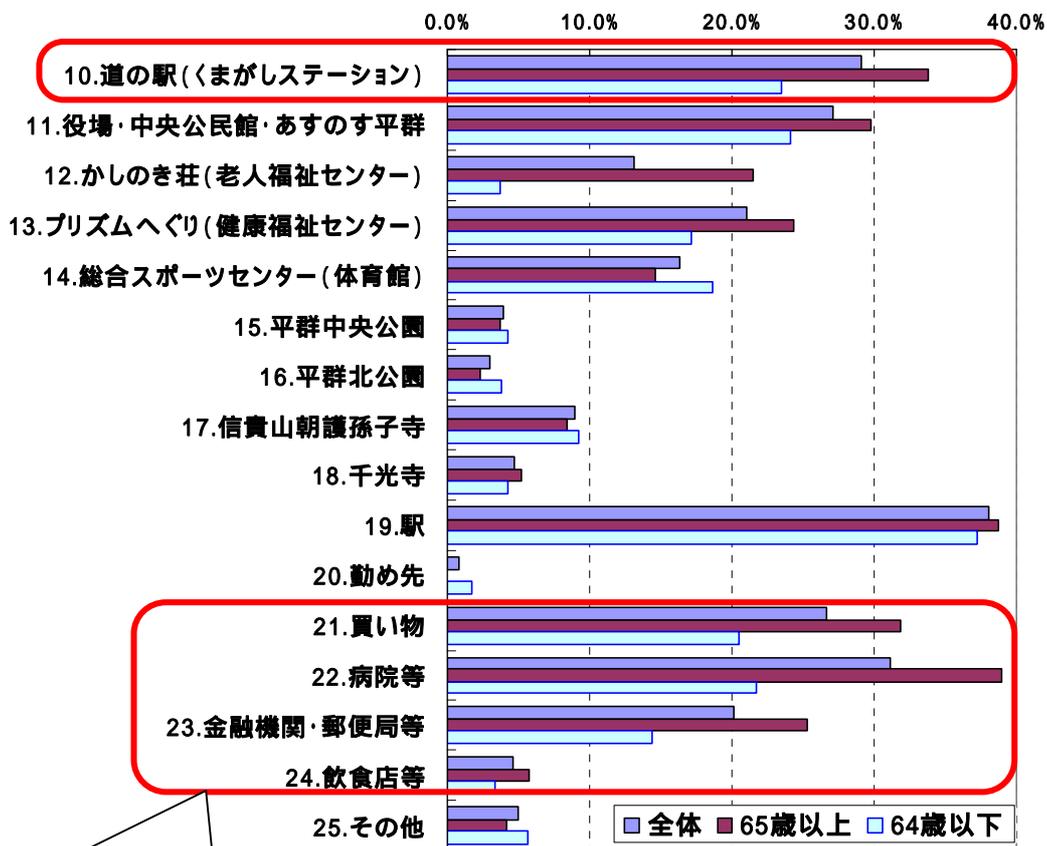


## 【バスルートに係る課題 2】

生活利便性向上に向けた、新たな住民ニーズに対応するルートの設定が必要です。

現状のバスルートは、町内の集落や住宅団地と鉄道駅、および主要公共施設を結んでいる。アンケートで住民がバスで行きたいと回答があった目的地も、現状のバスルート上にある施設が多い。一方、平群バイパス沿道に立地する商業・業務施設や、町内外の交流拠点である道の駅「くまがしステーション」などへの訪問ニーズが高まっており、これらの要望への対応を検討する必要がある。

あなたは町コミュニティバス（あいバス） 路線バス（NCバス）が使えるならば、  
どちらまで行きたいと思いますか。（抜粋）



飲食店、金融機関では、平群バイパス沿道の店名が多くあげられている。

「病院」としては、「近大病院」に次いで平群バイパス沿道に集積する医療施設・薬局等への回答が多く、今後も利用要望の増加が予想される。

バス運行システムに係る課題 ~ダイヤ、運行計画・日程等~

バス運行時間の延長（早朝・夜間）、土日運行の取り組み検討が必要です。

バスの運行については、路線バス・コミュニティバスともに「一日の運行本数増加」「土日運行・土日増便」へのニーズが高いことから、バス需要予測や収支計算と合わせて、運行計画の拡大を検討する必要がある。

コミュニティバス運行ルート別のニーズをみると、南部ルート運行エリアの住民から要望が特に多いことから、南部ルートの見直しと合わせた検討が必要である。

一方、「休日の行き先」で最も多い回答は「買い物」だったが、バスで行きたいところとしての回答はそれほど多くなく、病院や役場など平日対応の施設への回答のほうが多かった。

バスで行きたいところ  
上位5箇所

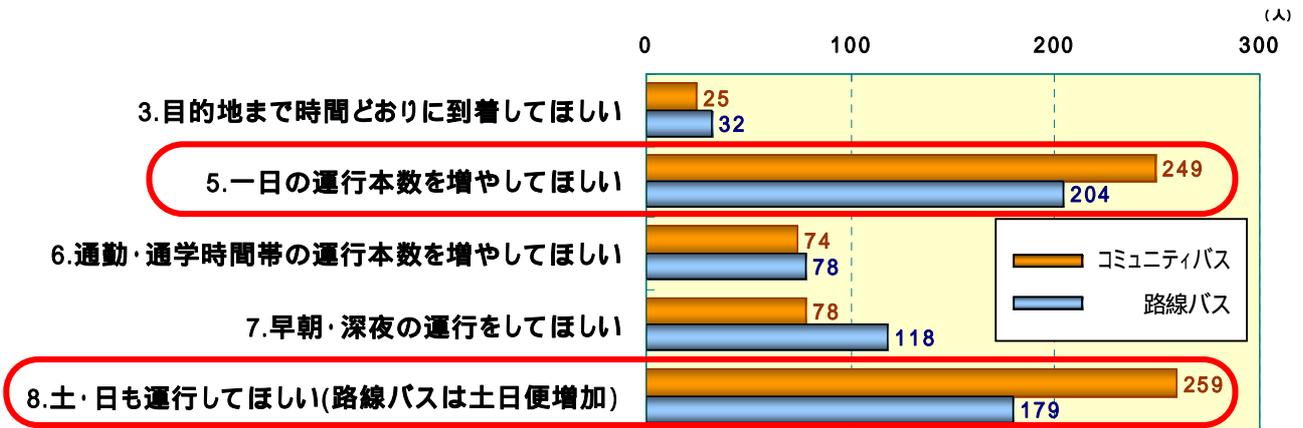
【65歳以上】

1. 病院等
2. 駅
3. 道の駅
4. 買い物
5. 役場周辺公共施設

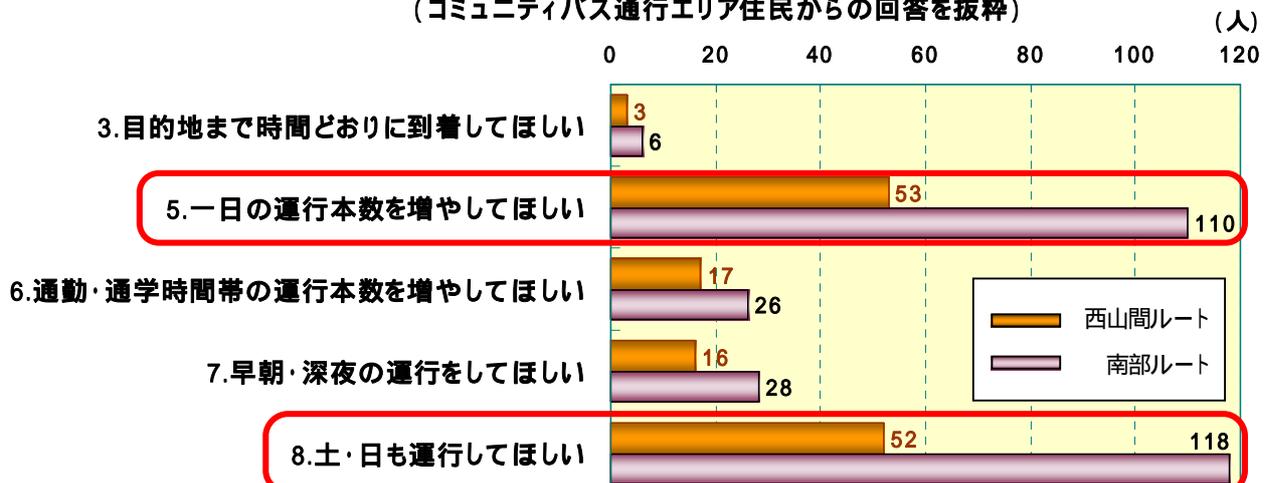
【64歳以下】

1. 駅
2. 役場周辺公共施設
3. 道の駅
4. 病院等
5. 買い物

コミュニティバス・路線バスについて改善してほしいと思っていることはありますか。(抜粋)



町コミュニティバスについて改善してほしいと思っていることはありますか。  
(コミュニティバス通行エリア住民からの回答を抜粋)



利用サービスに係る課題 ～情報提供、利用促進の取り組み等～

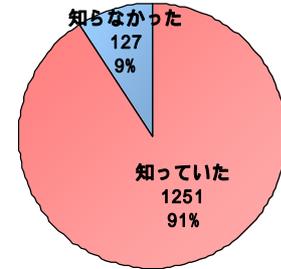
公共交通の利用促進に向けて、積極的な情報やサービスの提供が必要です。

コミュニティバスの認知度は高いものの、利用者がそれほど増加していないことから、高齢者以外の住民の利用促進を図ることが必要である。

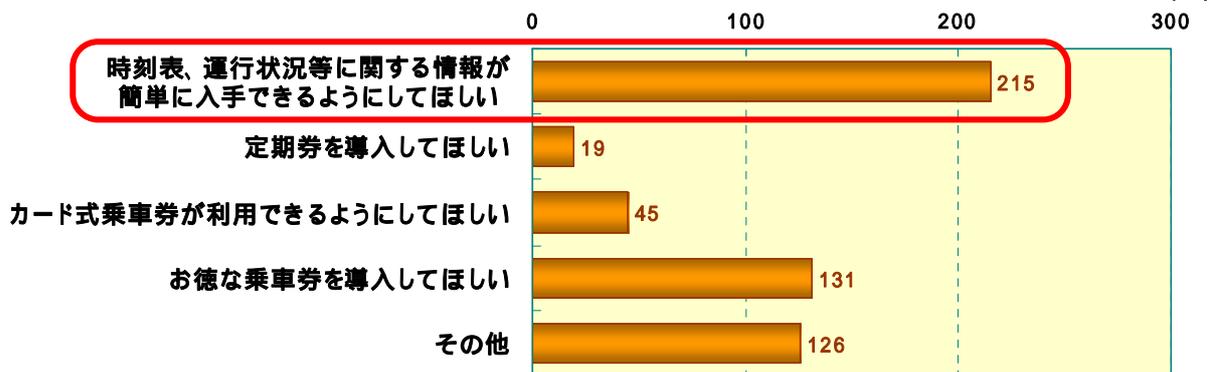
コミュニティバスは知っていても、ルートや時刻表の情報が入手しにくい状況があることから、積極的な情報提供を図る必要がある。

その他、全国の先進事例の利用促進方を参考に、平群町に合った取り組みを検討することが課題である。

コミュニティバス(あいバス)の認知度



コミュニティバスについて改善してほしいと思っていることはありますか。(抜粋) (人)



【参考】

豊岡市の公共交通情報誌  
バス路線図、時刻表、料金表の他、電車や駐車場、タクシー等についてもこの1冊で情報入手できる



他地域での情報提供・利用促進の取り組み  
社会実験やイベント、割引等のサービスと合わせて、効果的かつ積極的な情報発信に取り組む団体も多い



左) WEB での情報発信を効果的に行うことにより、地域外からの来訪者へ情報を提供している例(熊本県)

事業者連携に係る課題 ~乗り継ぎしやすさ、料金設定等~

電車、路線バス、コミュニティバスの乗り継ぎ向上や、共同での利用促進の取り組みが必要です。

外出時の交通手段では自家用車、電車の利用が最も多く、「電車との接続を良くしてほしい」という要望も多いことから、地域内交通機関の連携が課題となっている。

自動車利用者が最も多いことから、自動車利用から公共交通利用への転換を促進する取り組みについて検討する必要がある。

町の公共交通が連携して利用促進を図るために、住民や来訪者が利用しやすい料金体系・サービス等を検討する必要がある。

